

MBA 医療・介護マネジメントセミナー

地方におけるコミュニティ ホスピタルと医療・介護連携 在宅・地域完結型の要としての役割

一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団

経営企画部在宅事業課担当課長

(機能向上・訪問看護担当)

加藤 美奈子

当財団について

施設一覧

相談窓口一覧

認知症支援

住宅改修サポート

交通アクセス

お知らせ

採用案内

神戸在宅医療・
介護推進財団って？

すべての人に限りなくやさしい
医療・介護・福祉を

採用について
詳しく知りたい。

認知症の相談、
サポートをしてほしい！

どんな
施設があるの？

暮らしやすいように
リフォームしたい！

医療・介護・福祉の
相談がしたい！



事業・相談窓口紹介

- 神戸リハビリテーション病院
- 介護老人保健施設 リハ・神戸
- しあわせ訪問看護ステーション(1995年1月1日-市内4カ所)
- あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター) 市内3カ所
- えがおの窓口(居宅介護支援事業所) 市内5カ所
- 医療介護サポートセンター (各区に1カ所)
- 神戸市認知症初期集中支援 (こうべオレンジチーム)
- 住宅改修助成事業



自己紹介

- 生まれも育ちも神戸市
- ナースキャップに憧れて看護師に（当時は看護婦）
- 留年の危機をくぐり抜け卒業
- 「恕」ということば
- 平成15年（2003年）～訪問看護
- 訪問看護は安心を届ける仕事
- 神戸市への恩返し



ICTを入れた在宅医療の変化

- 紙カルテから電子カルテへ
- 単独訪問でありながら現場から同僚・医師らと相談できる
- 携帯電話（聴覚）だけでなく、タブレットから写真やビデオの発信ができる（視覚）
- 訪問でしか分からないことを記録に残す（嗅覚・触覚）
- オンライン診察
- コロナ禍で一気に広まったオンライン会議・研修
- 会議での議事録作成
- 看護師による深夜の緊急訪問について

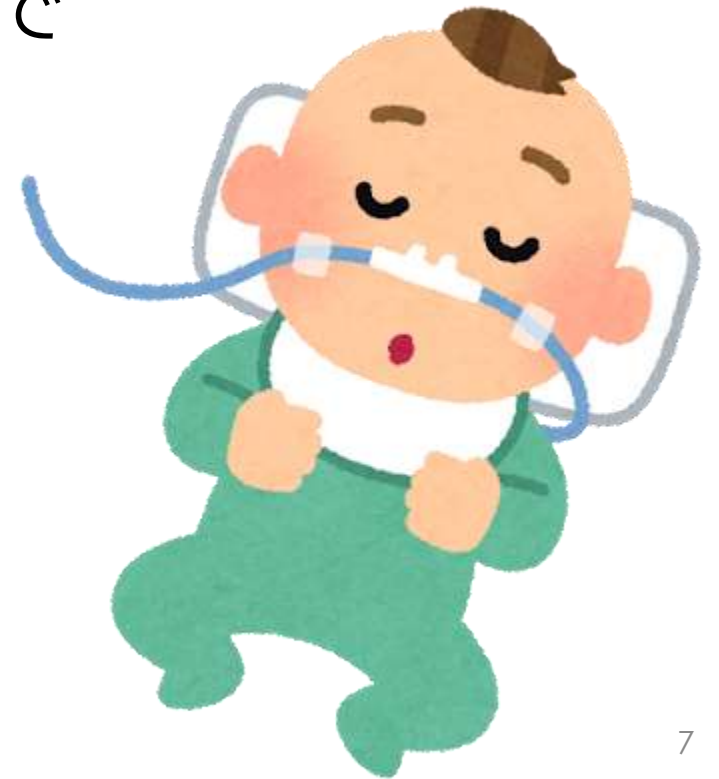
訪問看護ステーションで働く人々

- 看護師
- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 事務職員



訪問看護で看ている人々

- 0歳から100歳まで
- 疾患はさまざま
- 介護保険非該当の人から要介護 5 のひとまで



「在宅医療に必要な連携を担う拠点」と「在宅医療・介護連携推進事業」の連携

- 医療計画に定められた「在宅医療に必要な連携を担う拠点」では、在宅医療を受ける者に対し、多職種協働による包括的かつ継続的な在宅医療の提供体制の構築を図るため、在宅医療における提供状況の把握、連携上の課題の抽出及びその対応策の検討等を実施する。対象は高齢者に限らない。
- 地域支援事業（介護保険法）に定められた「在宅医療・介護連携推進事業」では、地域の実情に応じ、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築のための取組を実施する。対象は主に高齢者である。
- いずれにおいても日常の療養支援、入院・退院支援、急変時の対応、看取りの機能が求められる。
- 地域医療介護総合確保基金及び地域支援事業交付金については、併用も含めた活用が可能。

日常の療養支援

- 多職種協働による患者や家族の生活を支える観点からの医療(在宅医療を含む)・介護の提供の提供
- 緩和ケアの提供
- 家族への支援
- 認知症ケアパスを活用した支援

入院・退院支援

- 入院医療機関と在宅医療・介護に係る機関との協働による退院支援の実施
- 一体的でスムーズな医療・介護サービスの提供

急変時の対応

- 在宅療養者の病状の急変時における往診や訪問看護の体制及び入院病床の確保
- 患者の急変時における救急との情報共有

看取り

- 住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での看取りの実施
- 人生の最終段階における意思決定支援

訪問看護って何してくれるの？



- 原則、訪問看護師単独訪問
- 原則、滞在時間は30分から90分
- 訪問時に

【日常の療養支援】病状観察、療養指導、内服管理、食支援、排泄の介助、清潔の援助、スキンケア（褥瘡ケア）、医療処置、リハビリテーション、家族支援

【入院・退院支援】退院前カンファレンスへの参加、入院時サマリーの送付

【急変時の対応】緊急時電話相談、必要時緊急訪問

【看取り】自宅での看取り

特別な医療処置等

- 経管栄養法（胃ろうを含む）
- 在宅中心静脈栄養法（IVH）
- 点滴・静脈注射
- 膀胱留置カテーテル
- 腎ろう・膀胱ろう
- 在宅酸素療法（HOT）
- 人工呼吸療法（レスピレーター、ベンチレーター）
- 在宅自己腹膜灌流（CAPD）
- 人工肛門（ストマ）
- 人工膀胱
- 気管カニューレ
- 吸引
- 麻薬を用いた疼痛管理

訪問看護ステーションの現状

- 神戸市内の訪問看護ステーション322事業所（令和7年10月1日現在）
- うち訪問看護ステーション連絡協議会加入153事業所
（https://www.h-houkan.jp/station/st_kobe/令和7年10月20日最終閲覧）
- （上記リストより）小児訪問看護に特化した訪問看護ステーション7事業所、訪問可能な事業所28事業所、要相談38事業所、小児訪問看護不可31事業所、記載なし49事業所

在宅・地域完結型の要としての役割

- 訪問看護は生命と生活と人生をみることができる
- オーダーメイドの看護を提供できる
- 入院を減らすことができる
- 不安な時の相談先
- 「安心」を届ける
- 「してあげる」看護ではなく、自立に向けた看護の提供
- 家族が遺族になったとき介護が良い思い出となるよう支援

なぜ訪問看護が広まらないか

- 年金生活者にとって利用料が高い？（医療費と違って訪問看護の請求書は電気・ガス・水道代など他の請求書と並べられる）
- 安いプランが良いプランか？
- 食べられなかったら自宅は無理？→言語聴覚士の活躍
- トイレへ行けないと家族に迷惑をかけるから自宅で暮らせない？
- チューブが入っていると専門の病院や施設でないと看れない？
- 「呼吸器装着しているので自宅には戻れない」と家族に説明する医師、それを受けて転院先を探す相談員

「家族に迷惑をかけたくない」

- 年をとったらよく使う言葉
- ひとに迷惑をかけずに死ぬことはできるのか
- 「迷惑」とは何か？下の世話のことをさすのか？
- 家族は迷惑をかけられたくないと思っているのか
- 本人が「安心だから」と言って入所する人
- 家族に「安心だから」と言われて入所する人
- 本人・家族間で話し合いの機会はあったか
- 「安心」と引き換えに何かを捨てないといけないのか

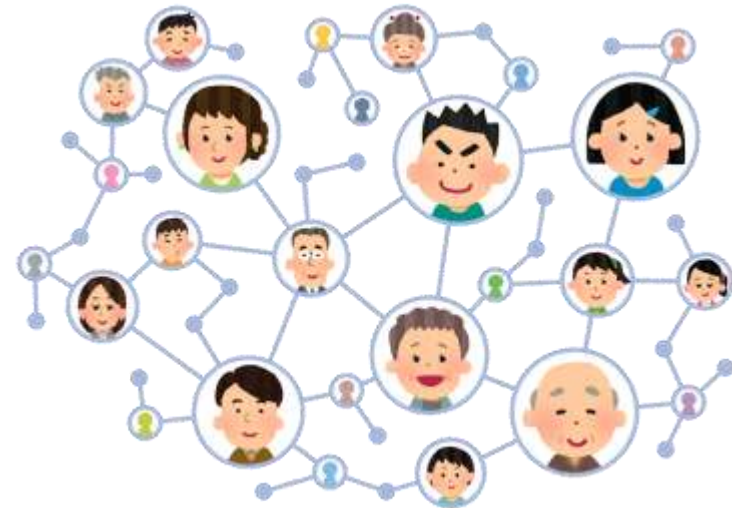
1. 看護師は、24時間365日いつでも連絡がつき、相談にのり対応してくれる
2. 看護師は、緊急連絡が必要な状態について、またその時の連絡先・連絡方法について具体的に本人と家族に説明してくれる
3. 看護師は、本人と家族の状態が変化した時や困っていることがあった場合は、すぐに対応してくれる
4. 看護師は、本人と家族の希望や考えをよく聞いてくれる
5. 訪問する看護師がかわっても、同じ看護をうけることができる
6. 看護師は、本人の健康状態の変化によく気づいてくれる
7. 看護師は、身体の状態の変化に合わせて、適切なケアの方法を提供してくれる
8. 看護師は、医師と相談した内容をすぐに本人・家族にわかる言葉で説明してくれる
9. 看護師は、今後の身体の状態の見通しについて、本人と家族にわかる言葉で説明してくれる
10. 看護師は、今後に起こりうる身体の悪化（床ずれや痛みなど）を予防するために、先を見越して関わってくれる
11. 看護師は、身体の状態が悪化したときや症状がでたときの本人や家族ができる対処方法を事前に説明してくれる
12. 看護師は、行っているケアの内容とその理由や意味を、毎回、説明してくれる
13. 本人に関わっている様々な専門職（例えば、看護師、医師、ケアマネジャー、介護職など）の中で、本人や家族が1人の人に情報を伝え、それが他の人にもきちんと伝わっている
14. 本人に関わっている様々な専門職（例えば、看護師、医師、ケアマネジャー、介護職など）は、本人や家族の目標に沿って、皆で同じ方針で取り組んでいる
15. 看護師は、家族の気持ちの支えになっていると思う

訪問看護を利用する前に比べて、

1. 本人の身体の状態が安定したり、苦痛や症状が和らいだりした
2. 本人の不安や困ったことが軽減した
3. 本人が自宅での生活に自信をもつことができた

多職種連携の橋渡し

- 安心して在宅で暮らせるように質の高い看護を提供する
- ひとりの人を年齢や療養する場所などで切り分けることがない
ようにサービスを提供する側が役割を重ねて支援する（シーム
レスな対応）
- 利用者も介護者も支援者も「わたしひとりじゃない」という感
覚が持てるように関わる
- 素人の感覚を持ち続ける
- 立場が変われば良かれも変わる
- 「正論より配慮」



神戸市の組織と業務内容

福祉局

- 政策課
- 相談支援課
- 人権推進課
- くらし支援課
- 高齢福祉課
- 介護保険課
- 国保年金医療課
- 障害福祉課
- 障害支援課
- 障害者更生相談所
- 監査指導部

健康局

- 政策課
- 地域医療課
- 食品衛生課
- 環境衛生課
- 斎園管理課

将来に向けて「シームレスな対応」 人口減少地域へのきめ細かい医療の提供

- 住民の相談窓口→地域包括支援センター
- 専門職の相談窓口→医療・介護サポートセンター
- 障害者相談支援センター
- 18歳と65歳の移行期問題
- きめ細かい医療を提供するために提供する側がきめ細かく分かれていない
- 労働人口が減少したら役割を重ねて支援（コロナ禍でのヘルパーとの連携）
- デイサービスに行きたくない高齢者

活動日時
毎月第4木曜日 13:30-15:30



予約不要・相談無料



最寄りの交通

<JR・山陽垂水駅から>

山陽バス 2・3・4 系統 (星陵高校前下車) ..徒歩 3 分

山陽バス 2・4 系統 (盤子原駅前下車) ..徒歩 3 分

<JR・舞子駅から>

市バス 51 系統（星陵高校前下車）..徒歩 3 分

みんなの
しあわせ保健室

一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団

西部しあわせ訪問看護ステーション

7655-0038

神戸市東灘区星陵台4丁目4番37号

墨水区医師会館 1階

<https://www.kzc.jp/station/center/seibu/>

住み慣れた街で
安心して暮らし続けるために

みんなの
しあわせ
保健室



一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団
西部しあわせ訪問看護ステーション

こんなことはありませんか？

病院に行って説明を受けたけど
言われた意味がよくわからない

家族の介護をしているが
この方法で良いのかな

家族が退院してきたら自宅で
介護できるのだろうか

物忘れが多くなってきた親
のことが心配

がんと診断されたけれど何も考えられない



問題が明確
でないけれど
話を聴いて
欲しい

ネットで色々
調べるけどよ
くわからない



お茶でも飲みに来ませんか？

暮らしの中で誰に相談していいかわからな
い、病院に行くほどではないけれど、気になる
ことがある。

そんな時にゆっくり話を聴いてくれる人がい
る、ほっと一息つける場所。

あなたの思いは尊重されます。安心してお
話してください。他の人に聞かれたくない場合は
個室もご用意しています。



健康や暮らしに関わる様々な 相談に応じます

必要ならばあんしんすこやかセンターや医療介
護サポートセンターとも連携し、最適な機関へ
のご紹介もいたします。

